## 山岳トイレの維持管理費等調べ

施設名	事業者		処理方式のタ イプ	公衆トイレの規模			支出		協力金収入	利用者数	備考
富士山山頂公衆トイレ	環境省		燃焼式/バイ オ式併用(平 成22年度に バイオ式に統 ー工事予定)	男子	大	3穴	施設保守 管理費等	23,829千円		31,976人	
					小	6穴	電気・燃 料費等	1,824千円			
				女子		6穴	合計	25,653千円			
富士山五合目公衆トイレ	環境省	1億6300万円 平成19年 改修	浄化循環式	男子	大	1穴	\+\ =\\\\\\	5,568千円	977千円	47,090人	
					小	3穴	清掃維持 管理費等				
				女子		3穴					
北アルプス 横尾公衆便所	環境省	約5千万円	土壌浸透 (TSS)	男子	大	2穴	清掃人件費	800	2,137千円 93,266人		剰余分は次年度繰
					小	2穴	消耗品費	121			
				女子		4穴	施設維持費	318		越金として、積み立	
							運搬費	124			てている。
							合計	1,363			
北アルプス 涸沢下部 公衆便所	環境省	1億1千万円 (上部トイレと の合計)	固液分離 ・カートリッジ 式	男女	大	5穴	清掃人件費	300	435千円	21990人	不足費用は涸沢 ヒュッテが負担(清掃 を涸沢ヒュッテ従業 員が担当することで 人件費の大幅に圧 縮)
					小	2穴	消耗品費	210			
							運搬費	315			
							合計	825			
北アルプス 民間山小屋A	民営	4千万円台	固液分離 ・カートリッジ 式				清掃人件費	0	1500千円		清掃人件費は不明 (山小屋通常業務と 分離できず。1日数 回清掃するとのこ と。)
							消耗品費	1000			
							ヘリ運搬費	2000		回》	
							合計	3,000			